

地域住民の意見の反映

「日向灘沿岸海岸保全基本計画」策定にあたっては、沿岸住民へのアンケート調査や、宮崎県ホームページ上におけるアンケート調査、さらには、地元公聴会を行い、広く意見を伺いました。

これら皆さんの意見の詳しい内容をご提示いたしました。

以下のメニューをクリックしてください。

以下のメニューを[クリック](#)してください。
各ページへジャンプします。

[沿岸住民へのアンケート調査結果](#)

[宮崎県ホームページによるアンケート調査結果](#)

[公聴会](#)

沿岸住民へのアンケート調査結果

平成 13 年 12 月において、地域住民に対するアンケート調査を行った。沿岸部の 5 市 8 町の 13 市町の住民のみなさまを対象としまして、約 3,400 人に海岸に関するアンケート用紙を送付し、アンケートを行いました。沿岸部の市町を県北部・県中部・県南部の 3 地域に分類し、回収されたアンケート内容を集計しました結果を下記のとおりとりまとめております。なお、アンケートの回収数は約 1,830 通で、回収率は約 54%となっております。

a. 海岸に対する不満

海岸に來訪して、不満に思ったことについての回答として、どの地域でも最も多い項目は、“ゴミの散乱”で、その他の項目では地域による違いが見受けられました。県北部では、“トイレやシャワー、駐車場、食事・休憩施設の不足”といった利用面に関する不満が上位を占めており、県中部では、“砂浜幅員に対する不満”が第 2 位に位置し、次いで“施設整備に対する不満”となりました。県南部では、県北部とほぼ同様の傾向となりました。

b. 海岸環境の中で特に守っていくべきもの

全ての地域で“海の水(水質)”が最も多く、これ以外の項目では地域による違いが見られました。県北部及び南部においては、“魚や貝、海草等海の生き物”が第 2 位、“砂浜”が第 3 位となりましたが、県中部においては、“砂浜”が第 2 位となりました。

c. 今後の重点課題

今後の整備の方向性として“防護”“環境”“利用”に区分し、それぞれ 5 段階評価をしていただきました。これを集計した結果、防護及び環境が 4.0 となり、利用は 3.3 となりました。なお、県北部・県中部・県南部とも大きな差が無く、ほとんど同じ結果となりました。

d. 自由意見の傾向

自由意見を幾つかのカテゴリーに分類し集計した結果、県北部では、“公園・駐車場等整備”に対するものが最も多く、県中部及び南部では“管理運営”に関するものが最も多い結果となりました。

全体としては、“環境”“利用”に関する意見が多く、“安全”に関する意見は比較的少ない結果となりました。

表 地域アンケートにおける自由意見の分類

	安全(防護)		環境			利用		全般的	その他	
	侵食	護岸	松林	管理運営	水質	公園等	港整備		河川	その他
県北部	22	17	24	17	12	54	29	62	10	94
県中部	40	11	13	67	6	35	7	20	12	44
県南部	14	15	7	30	6	24	3	26	4	18
計	76	43	44	114	24	113	39	108	26	156
	119		182			152		108	182	

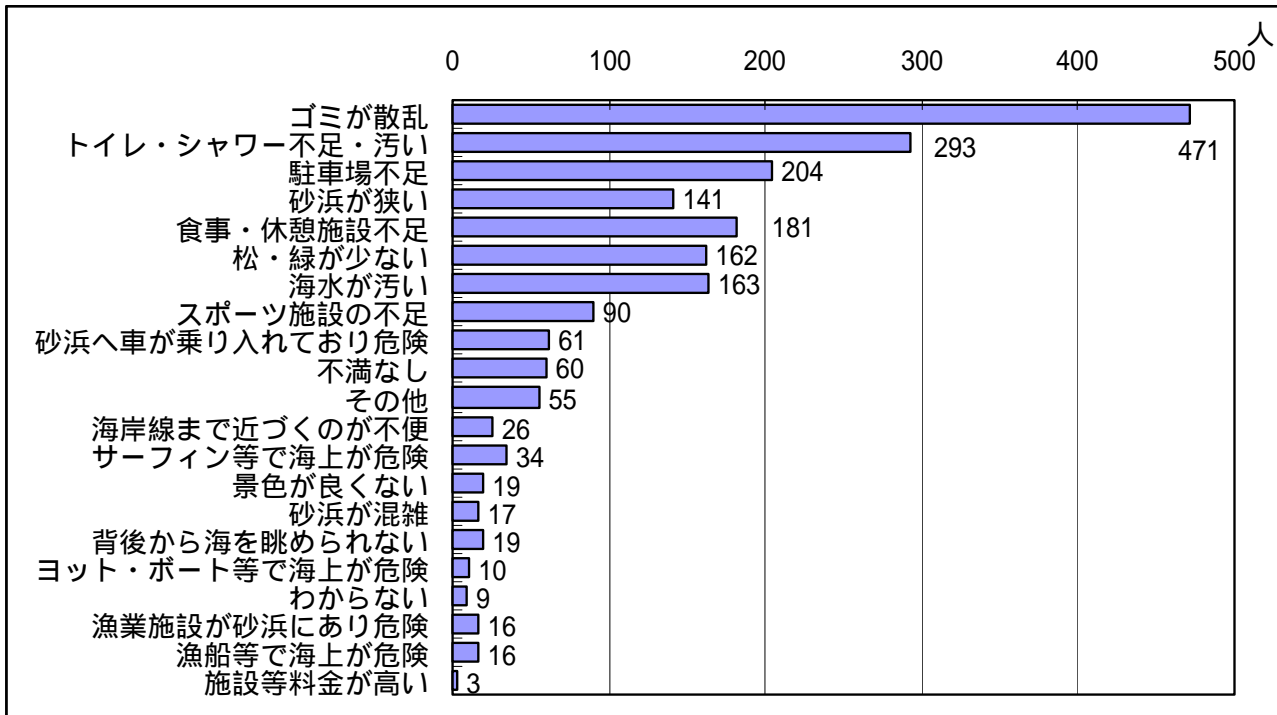
県北部：北浦町～日向市までの地域

県中部：都農町～宮崎市までの地域

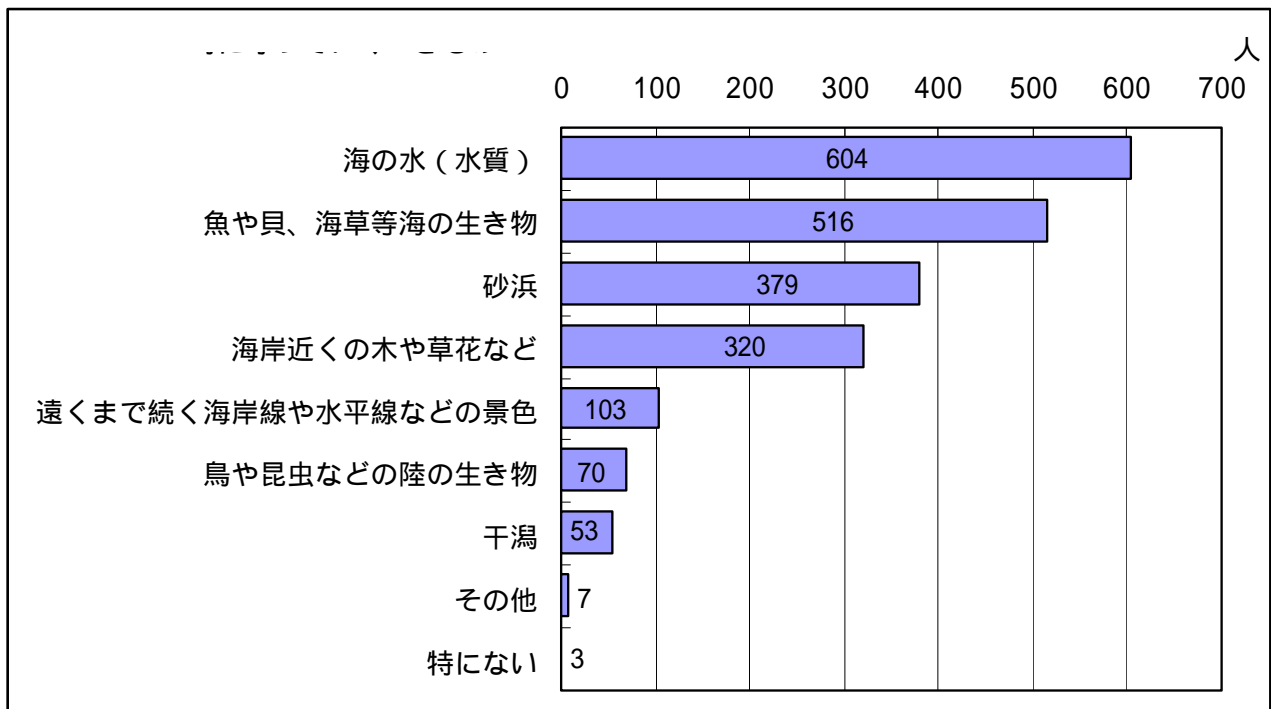
県南部：日南市～串間市までの地域

県北部におけるアンケート調査集計結果

<a.海岸に対する不満：下記項目より選択方式>

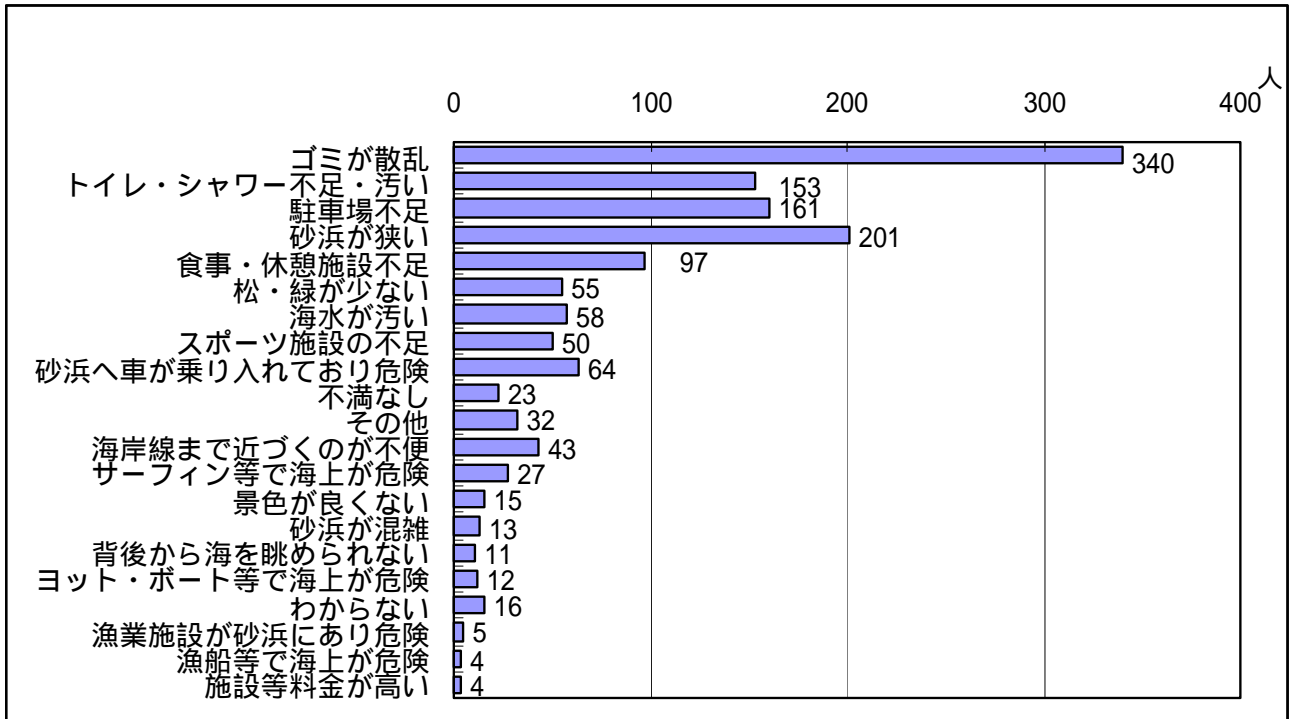


<b.海岸環境の中で特に守っていくべきもの：下記項目より選択方式>

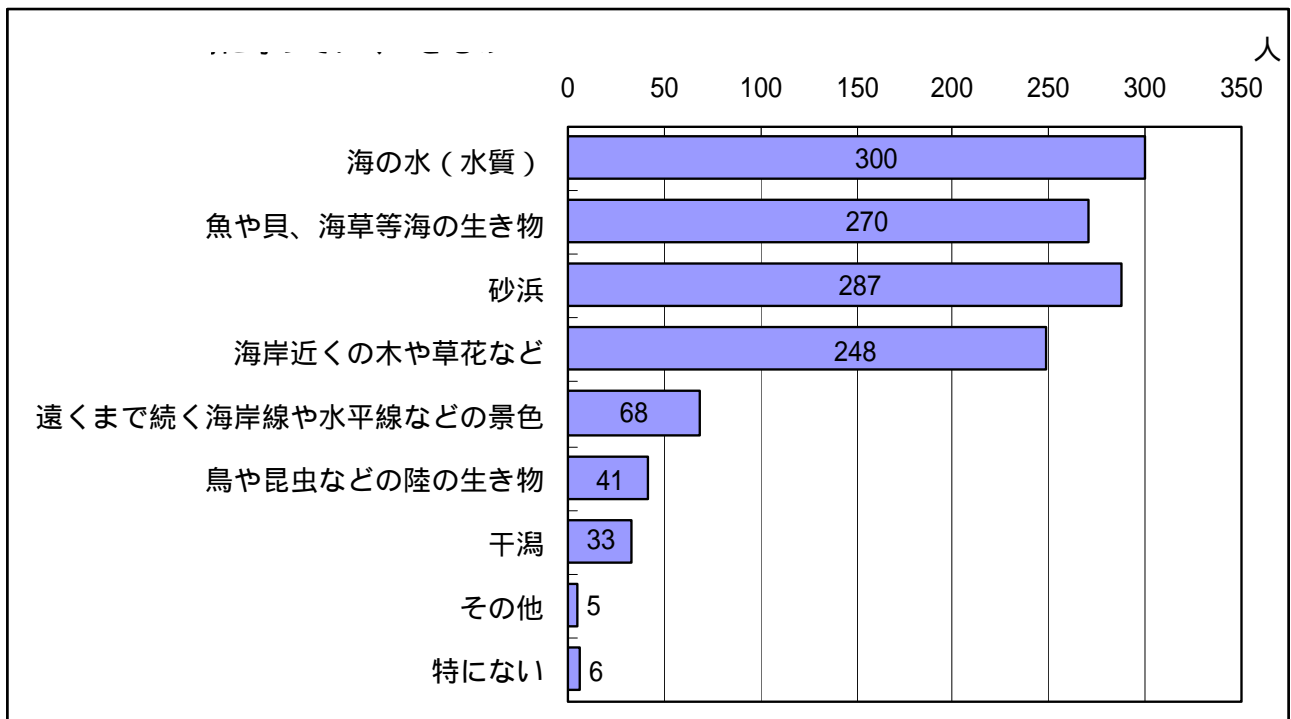


県中部におけるアンケート調査集計結果

<a.海岸に対する不満：下記項目より選択方式>

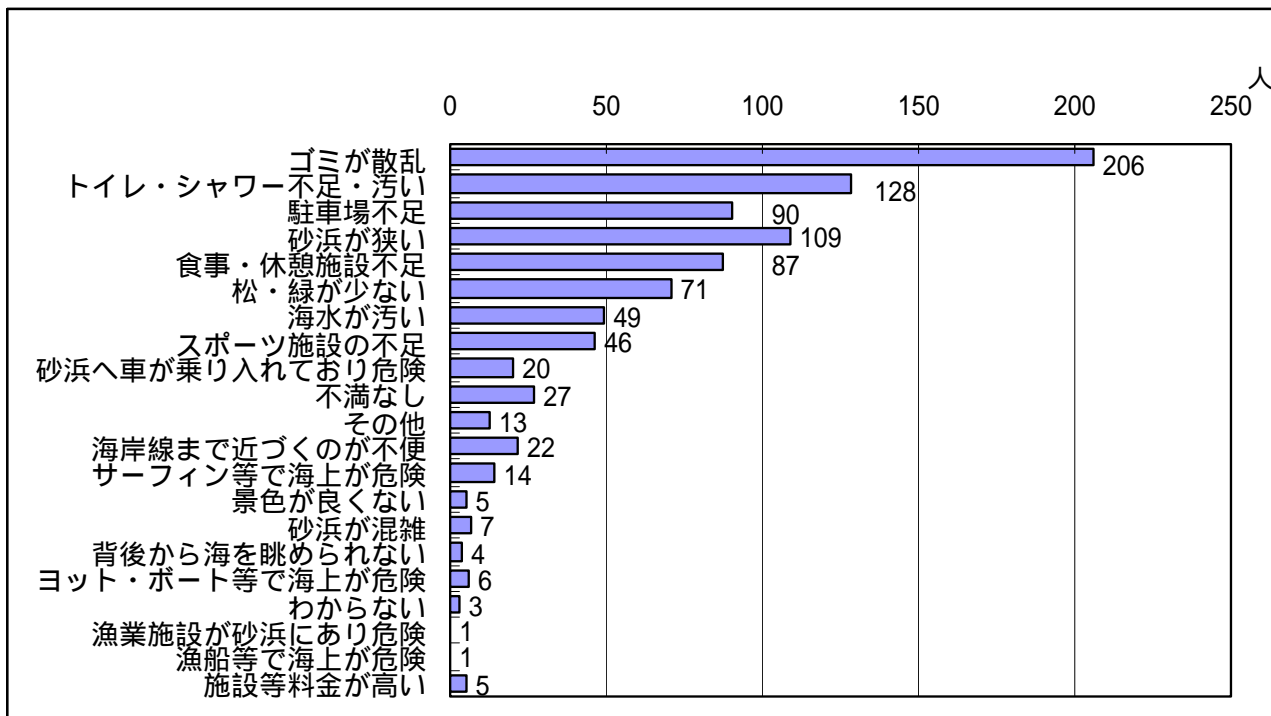


<b.海岸環境の中で特に守っていくべきもの：下記項目より選択方式>

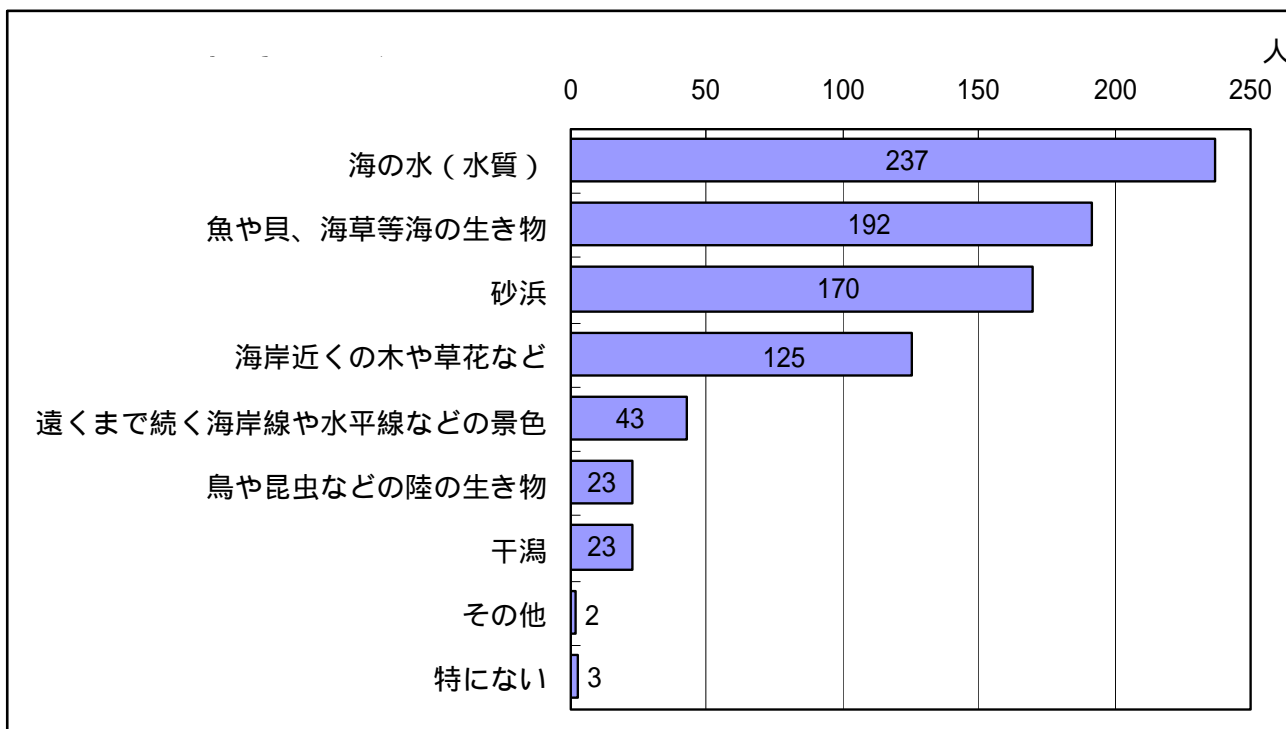


県南部におけるアンケート調査集計結果

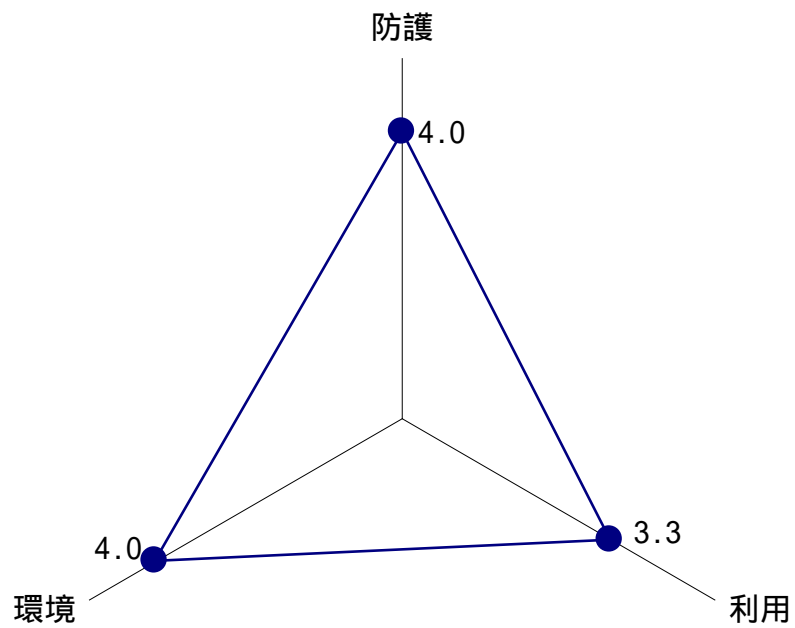
<a.海岸に対する不満：下記項目より選択方式>



<b.海岸環境の中で特に守っていくべきもの：下記項目より選択方式>



<c.今後の重点課題：防護、環境、利用の各側面毎に、今後の重点度を5段階で評価>



< 全県：今後の重点課題 >

宮崎県ホームページによるアンケート調査結果

宮崎県のホームページ及び沿岸 13 市町のホームページにおいて、海岸保全基本計画に関するアンケート調査を行いました。ホームページアンケートでは、約 140 人の方より回答があり、そのうち 25 名は県外在住（東京都、神奈川県、福岡県など）の方より回答をいただいております。

a. 宮崎県の海岸のイメージ及び来訪の目的

“自然が残されたところ”という認識が最も多く、“海辺の風景を楽しむ”ことを目的として来訪している人が最も多い結果となりました。なお、将来において海辺で行いたい活動も“海辺の風景を楽しむ”が最も多いものでした。

b. 海岸整備への要望

生物等生態系への配慮をあげている回答者が最も多く、眺望や景観といった利用面の項目は第 2 位でありました。

c. 対策

安全面における対策としては、“行政・住民との連携によるソフト面の強化”をあげている人が多く、“ハード面における整備の強化”を選択した人は少ない結果となりました。

環境面における対策としては、“地域住民やボランティアの協力による美化活動”が第 1 位となり、“利用者等への啓発活動”が第 2 位となりました。

利用面における対策としては、“利用のルールづくりや啓蒙活動”など制約を伴うものが最も多く、“アクセス向上やバリアフリー対策”など、利用環境を向上させるものが第 2 位となりました。

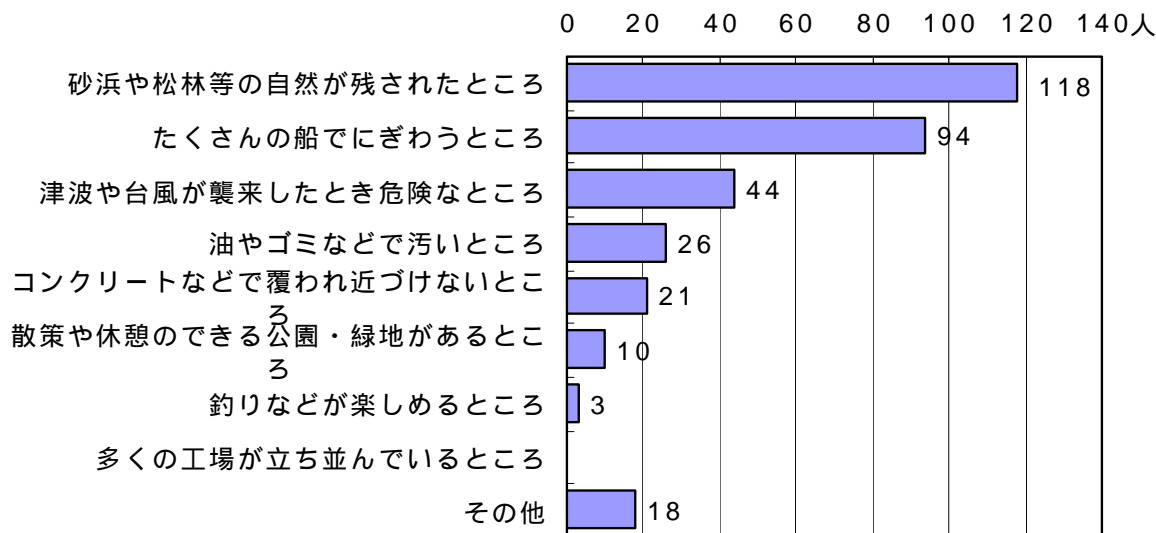
d. 今後の重点課題

地域アンケートと同様に、今後の重点課題として、防護・環境・利用の 3 側面において 5 段階評価をしていただきました。環境のみが比較的高い重点度（4.6）となっており、防護面・利用面がこれよりやや低く 3.4～3.5 の重要度となっています。地域アンケートと比べると、防護面の評価がやや低いものとなり、この部分に違いが見られました。

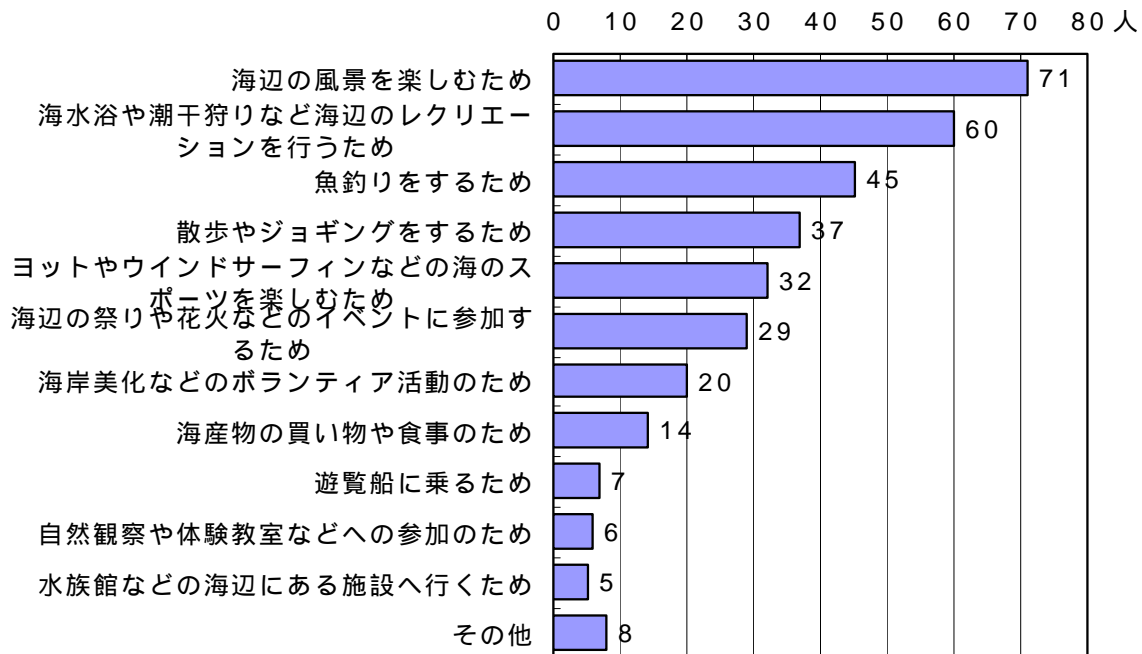
ホームページアンケート調査における集計結果

< a.宮崎県の海岸のイメージ及び来訪の目的 >

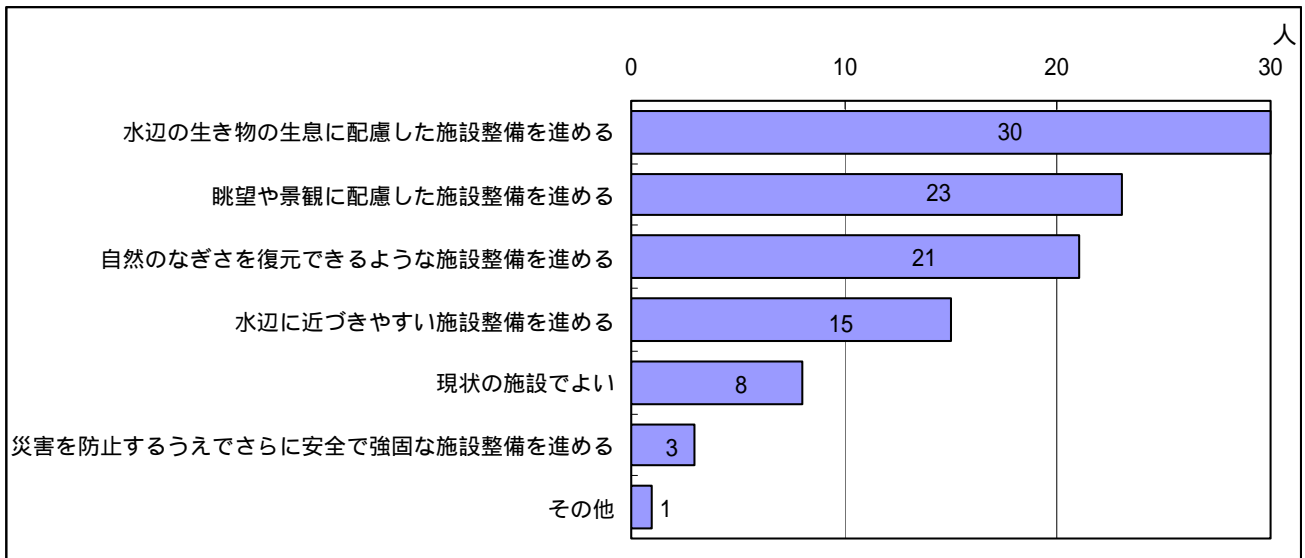
宮崎県の海岸のイメージ



来訪の目的

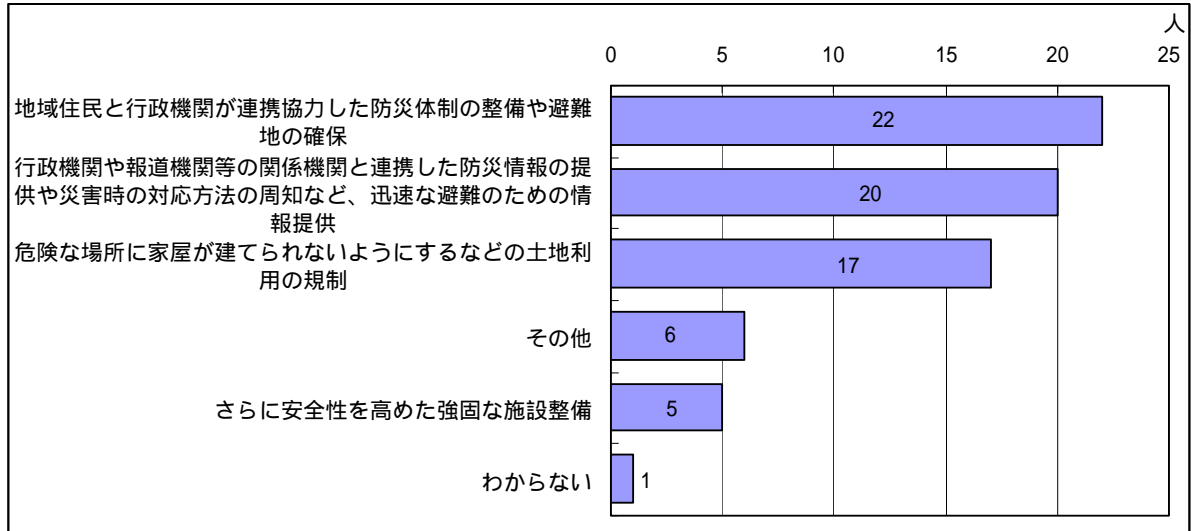


<b.海岸整備への要望：下記項目より選択方式>

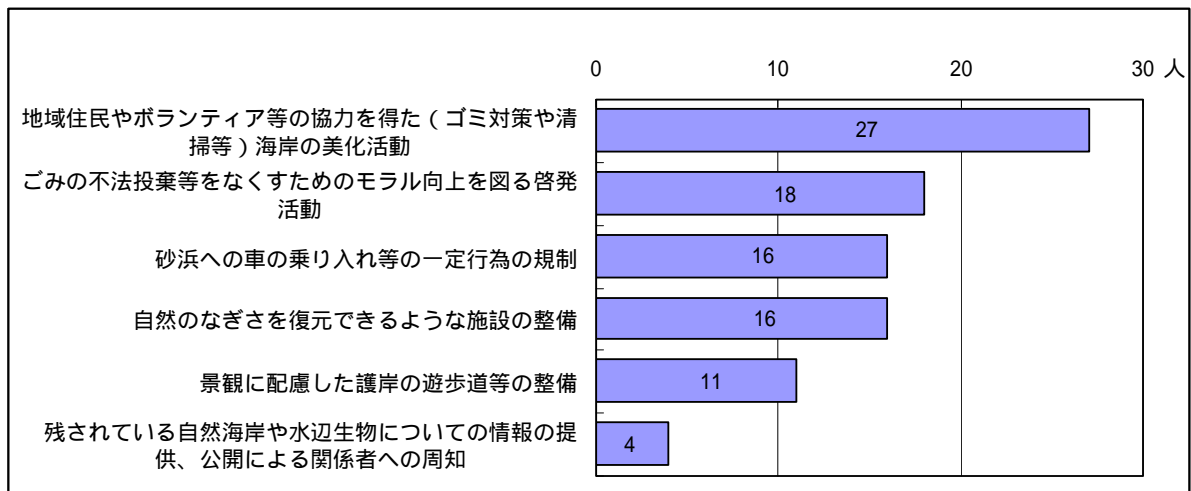


<c.対策：下記項目より選択方式>

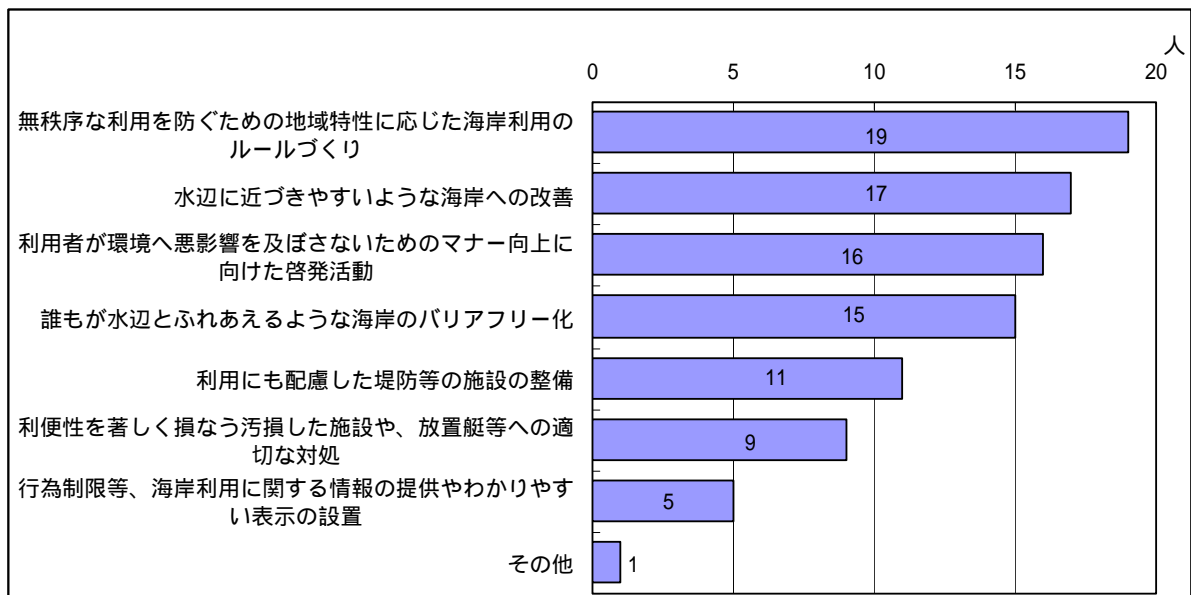
高波や津波などから街を守る方法



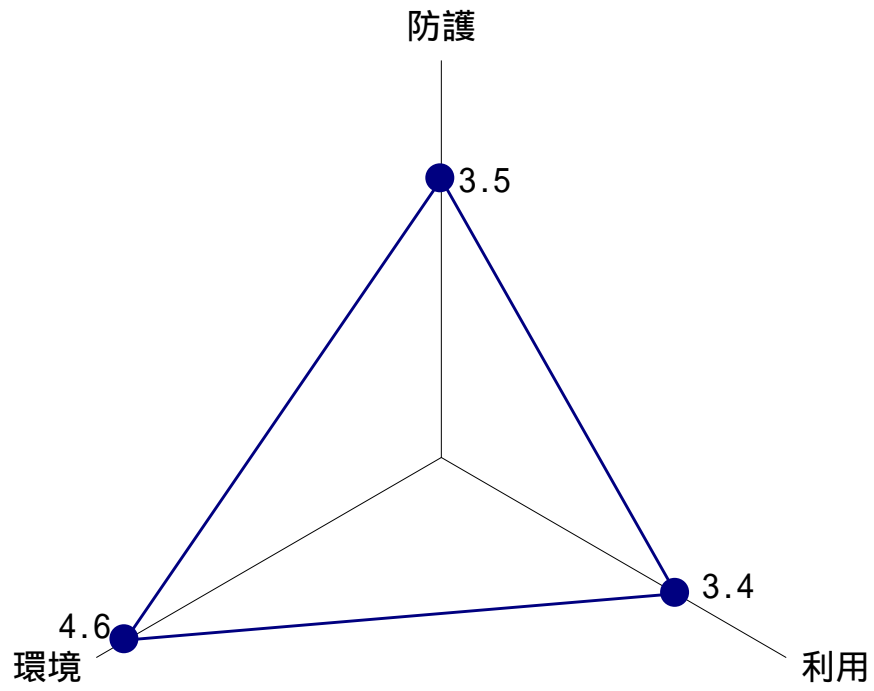
海岸の環境を守るための方法



海岸を適正に利用するための方法



<d.今後の重点課題：防護、環境、利用の各区側面毎に、今後の重点度を5段階で評価した結果>



<HPアンケートによる今後の重点課題>

公聴会

1.名称

海岸保全施設の整備等に関する公聴会

2.目的

日向灘沿岸海岸保全基本計画（以下、本計画）という。）の策定に当たり、本県の海岸保全施設の整備に関する事項を中心に、本基本計画案全般について関係住民の意見を聴くこと。

3.期日・会場

平成14年11月26日～12月4日県内6会場

<会場：延岡地区、日向地区、高鍋地区、宮崎地区、日南地区、串間地区>

4.主な一般参加者

住民、地元自治会、環境保護団体、観光協会、商工会、各種ボランティア団体、漁協、サーファー等海岸の利用者など

5.案内方法

- (1)関係市町の広報誌、回覧板等
- (2)テレビやラジオの県広報番組

6.参加者数

会場	一般参加者	行政機関	計
延岡会場	20人	35人	55人
日向会場	48人	31人	79人
高鍋会場	33人	28人	61人
宮崎会場	43人	32人	75人
日南会場	22人	24人	46人
串間会場	12人	22人	34人
計	178人	172人	350人
平均	29.7人	28.7人	58.3人

7.配付資料

整備イメージ図、施設の整備方針等を提案した資料

8.公聴会におけるおもな意見

砂浜の侵食対策、津波対策など、防護に関する意見や、貴重な海浜植物、アカウミガメ、自然景観への配慮など環境面に関する意見、公園整備や駐車場・トイレ等施設整備など利用に関する意見をいただきました。特に、ゴミ問題や動植物保護に関する意見を多くいただきました。